

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	石綿検診事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	保健所 保健医療 課	評価責任者(課長名)	藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	かつて堺市内の「麻袋再生事業所」の労働者及びその家族、周辺住民であった者で、石綿ばく露による健康被害を疑われる者の存在が明らかとなったため、平成26年10月から市独自の「石綿検診」を実施。平成27年度からは、環境省の「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」の対象地域として、石綿検診を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内在住で、原則として平成2年以前に市内に居住していた方か、過去に国が定める地域に居住していた方で石綿ばく露の可能性のある方			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	石綿ばく露の可能性のある方に対する継続的な健康管理			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①石綿ばく露歴等の聞き取り ②肺がん検診の受診勧奨(6月～9月の間に受診) ③(肺がん検診の結果通知後)CT検査 ④保健指導			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 近畿中央呼吸器センター、耳原総合病院、堺市立総合医療センター				

Ⅲ. 投入量

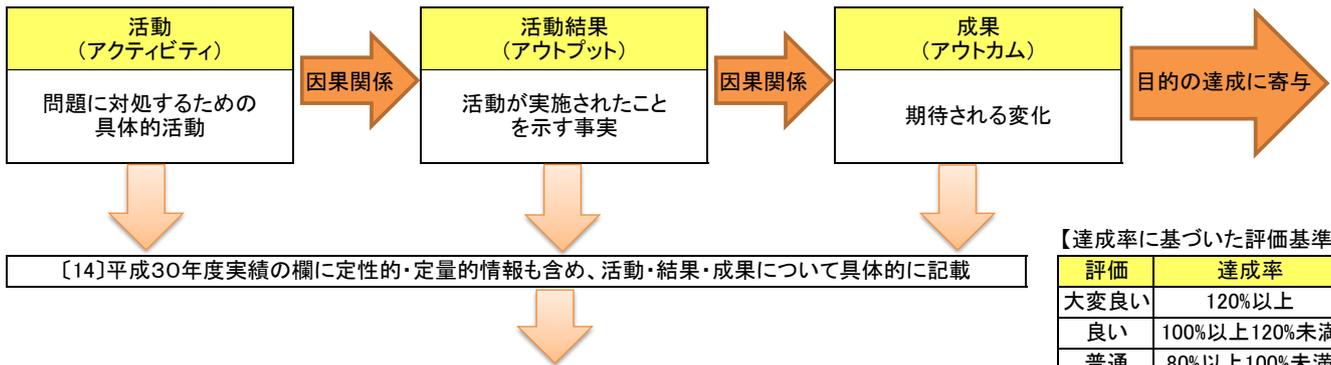
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	663	1,348	1,343	2,552	
	主な事業費内訳	CT検査委託料	千円	601	1,045	1,083	2,159
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	663	1,348	1,343	2,552
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
	その他( )	千円					
	一般財源	千円	0	0	0	0	
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,303	2,988	2,983	4,172	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

<b>事務事業名</b>	石綿検診事業	<b>シート番号</b>	11-227
--------------	--------	--------------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>前年度に続き、市ホームページ、広報さかい(6月、8月、10月号)に広報記事を掲載したことに加え、30年度は新たに堺シテイレポでの放送(7月28日～8月3日)を実施した。また、10月28日に市民との協働により「アスベストを考える講演会」を開催し、当検診の広報・周知を行った。これらの広報活動の結果、平成30年度の石綿検診における胸部CT検査受診者数は過去最多(47人)となり、真に必要とする方への検診制度の広報周知、また、石綿ばく露の可能性のある方に対する継続的な健康管理に寄与した。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		石綿検診受診者数	人	目標値	-	-	-	-
				実績値	26	45	47	-
				達成率	-	-	-	-
	評価			-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		石綿検診受診者のうち、胸部CT検査受診者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
	評価							
	算出方法・設定根拠など							

#### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>積極的な広報周知活動の成果が実り、過去最高の検診受診者数となった。また、平成30年度においては、「アスベストを考える講演会」の開催日に合わせ、検診申込期間を約1カ月延長したことにより受診者数増加につながった。</p>
----	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。